



アクティブスピーカーシステム

取扱説明書・保証書



RDP-NWR100

©2010 Sony Corporation Printed in Malaysia

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。 お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。
・“ウォークマン”の取扱説明書も必ずお読みください。
・安全のために注意事項を守る。
・故障したら使わない。
・万一異常が起きたら、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービスステーションに修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
 火災	 分解禁止	 指示

警告 下記の注意を守らないと、**火災・感電により死亡や大けがの原因となります。**

分解や改造をしない

火災や感電の原因になります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



注意 下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

本機を水中に沈めない

本機は防水構造となっていますが、水中でのご使用はできません。

電池の安全上の注意

取り扱いを誤ると、乾電池が発熱、破裂、液漏れを起こし、火災やけがの原因になりますので、次のことをお守りください。
・手がぬれた状態で乾電池交換しない。
・加熱・分解したり、火や水の中に入れたりしない。
・乾電池はプラス(+)とマイナス(-)の表示通り入れる。
・指定以外の電池を使用しない。
・種類の異なる電池や新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。
・乾電池に表示されている注意事項もあわせてお読みください。



高温の場所についてのご注意

直射日光が長時間当たる場所や、暖房器具の近くなど温度が非常に高い(60℃以上)ところや、湿気の多いところでのご使用、放置は避けてください。
特に窓をしめきった自動車内(季節により60℃を超えることがあります)などに放置したまま直射日光をあてると窓ガラスのレンズ効果により一層加熱が促進されることがあり、キャビネットが変形するなど、故障の原因になりますので、充分にご注意ください。

ご利用シーンについて

- 浴室やシャワー室でご使用いただけます。
- 洗面所や台所でご使用いただけます。
- プールサイドや庭などの屋外でご使用いただけます。

防水について(ご使用前に必ずお読みください)

本機の防水性能について

本機は、JIS C 0920「電気機械器具の外郭による保護等級(IPコード)」の“水の浸入に対する保護等級”であるIPX7*1およびIPX4*2相当の防水仕様*3となっていますが、完全防水型ではありません。
故意にお風呂の温水や水中に落下させたり、水中で使用したりしないでください。また、使いかたによっては内部に水が入り、火災や感電、故障の原因となるおそれがあります。
以下の点を充分にご理解、ご確認のうえ、ご使用ください。

防水の対象となる液体

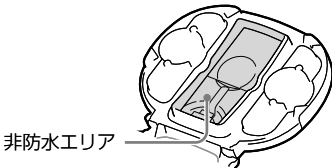
対象 真水、水道水
非対象 上記以外の液体(例:石けん水、洗剤や入浴剤の入った水、シャンプー、温泉水、プールの水、海水など)

*1 IPX7(浸水に対する保護等級): 常温の水道水(静水)の入った水深1 mの水槽に本体を静かに沈め、約30分間水底に放置しても、本体内部に浸水せず本体機能を保ちます。
*2 IPX4(噴流に対する保護等級): JIS指定のノズルを用い、約30 cm ~ 50 cmの距離から約10 ℓ/分の水を5分以上注水する条件であらゆる方向からの水の噴流によっても本体機能を保ちます。
*3 バックルがしっかりと閉まっている状態であることが条件です。

防水性能については、上記条件による当社測定に基づいたものです。
お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
上記により“ウォークマン”内のデータが破損または消去されてしまった場合、データの内容の補償についてはご容赦ください。

非防水エリアについて

ふたを開けた状態で非防水エリア内に水が入らないようにご注意ください。故障の原因となります。



水しぶきがかかる場所で使用する時のご注意

本機や“ウォークマン”の故障を防ぐため、以下の注意を守って使用してください

- シャワーの水が直接かかる場所に置かないでください。また、水やお湯に浮かべたり、水中で使用したりしないでください。さらに、シャワーを直接かけたり、故意に多量の水をかけたりしないでください。中に水が入り、本機や“ウォークマン”の故障の原因になります。
- 多量の水がかかったり、水中に落ちたりしたときは、裏面「お手入れのしかた」の「本機がぬれた場合」を参照してください。
- 本機の防水の対象となるのは真水と水道水のみです。それ以外のものがかからないようにしてください。万一、かかってしまった場合は、本機のバックルがしっかりと閉まった状態で、弱い水流の水道水で洗い流してください。
- 本機のふたを開けるときは、付着した水や砂を乾いた柔らかい布などで拭き取ってから開けてください。



浴室・シャワー室・洗面所や台所などで使用するとき

- 浴室やシャワー室など水のかかる場所ではふたを開けないでください。
- “ウォークマン”や乾電池の装着は湿気の少ない平らな場所で行ってください。開閉の際に水や異物が入ると、本機や“ウォークマン”の故障の原因となります。水がついているときは、拭き取ってからふたを開けてください。
- 石けん、シャンプー、入浴剤、洗剤、歯磨き粉、整髪料、調味料などがかからないようにしてください。本機の防水の対象となるのは真水と水道水のみです。万一、かかってしまった場合は、本機のバックルがしっかりと閉まった状態で、弱い水流の水道水で洗い流してください。
- 石けんなどの泡がついた手で持たないでください。滑って落下する危険性があります。
- ご使用後は浴室やシャワー室などに放置せず、水気を拭き取ってください。
- 浴室やシャワー室などの湿気の多い場所での長時間のご使用は避けてください。ご使用は1時間を目安にしてください。長時間使用すると防水性が低下し、水ぬれや結露により“ウォークマン”の故障の原因になります。

プールサイド・庭などの屋外で使用するときは

- 本機のふたを確実にロックし、開閉は絶対に行わないでください。
- “ウォークマン”の接続や乾電池の交換、操作シートの交換は、室内の湿気の少ない平らな場所で行ってください。開閉の際に水や異物が入ると、本機や“ウォークマン”の故障の原因となります。水や砂がついているときは、乾いた柔らかい布などで拭き取ってからふたを開けてください。
- 本機に以下のようなものがかからないようにしてください。
 - 砂、ほこり、湖水、池水、プール水、雨水、雪など
 - 殺虫剤、肥料、洗濯用の洗剤、ワックスなど
- ご使用後は屋外に放置せず、水気を拭き取って室内で保管してください。本機や“ウォークマン”の故障、変色や防水性能劣化の原因となることがあります。

本機に水が入ってしまったときは

- 万一内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止し、乾いた柔らかい布などで拭いたうえでソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービスステーションに相談してください。
- “ウォークマン”がぬれた場合は、至急ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービスステーションへご相談ください。修理費用はお客様のご負担となります。

取り扱い上のご注意

防水性の低下、本機や“ウォークマン”の故障を防ぐために

- 本機を使用しないときは、“ウォークマン”を入れたままにしないでください。また、WM-PORTプラグはWM-PORT取納部にしっかり入れてください。
- 本機を落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。変形や破損により、防水性能劣化の原因となることがあります。落下したり衝撃を与えた場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービスステーションでの点検をおすすめします。
- スピーカーの穴や操作シートに、異物を入れたり、先端のとがったものを押し込んだりしないでください。内部のスピーカー表面が破損し、防水性能劣化の原因となることがあります。
- ふたを閉めるとき、砂、髪の毛、ほこりなどの異物を挟み込まないようにしてください。異物の付着などによりすき間ができ完全に閉まっていない場合には、防水性能を保持できないだけでなく、内部に水が入り込み故障の原因になることがあります。
- 本機を持ち運ぶときに、先のとがったものなどと一緒に入れないでください。操作シートに傷につき防水性能が失われることがあります。
- 屋外で使用する場合、砂粒などの異物がスピーカーの穴に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。

使用環境についてのご注意

- 以下のような場所に置かないでください。変色・変形したり、故障したりすることがあります。
 - － ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内(特に夏季)
 - － サウナ、暖房器具やコンロの近くなど温度が非常に高いところ
- 周囲温度が高温のときのご使用は、連続1時間以内にしてください。防水性能が損なわれることがあります。
- 炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけておいてください。
- ドライヤーなどの熱風を直接あてないでください。
- 寒い屋外から急に暖かい場所に持ち込んで使用しないでください。急激な温度変化は結露の原因となり、本機内部に水滴が付着し、“ウォークマン”の故障の原因となります。
- 特に寒冷地などでは、水滴が付着したまま放置すると凍結するおそれがあります。故障の原因となりますので、ご使用後は必ず水滴を拭き取るようにしてください。

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。
・ホームページで調べるには ⇒ ウォークマン カスタマーサポートへ (<http://www.sony.co.jp/walkman-support/>)
最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。
・電話・FAXでのお問い合わせは ⇒ ソニーの相談窓口へ (下記電話・FAX番号)
お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
－ 型名: RDP-NWR100
－ ご相談内容: できるだけ詳しく
－ お買い上げ年月日

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.co.jp/support>

使い方 相談窓口	フリーダイヤル……………0120-333-020 携帯電話・PHS 一部のIP電話: 0466-31-2511
修理 相談窓口	フリーダイヤル……………0120-222-330 携帯電話・PHS 一部のIP電話: 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「301」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-7-

FAX (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

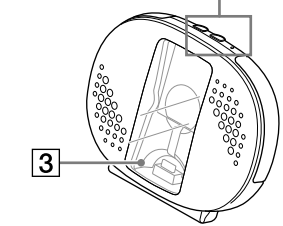
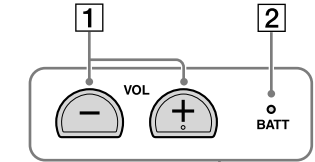
“ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

主な特長

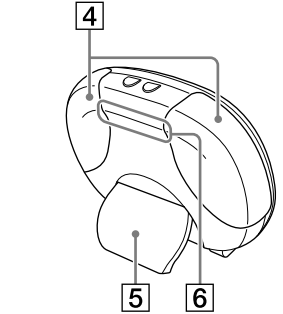
- 防水機能を備えたステレオスピーカー
- 乾電池に加え、“ウォークマン”からの給電による2電源方式を実現
- “ウォークマン”を収納して、ケースの上から操作が可能

各部のなまえ

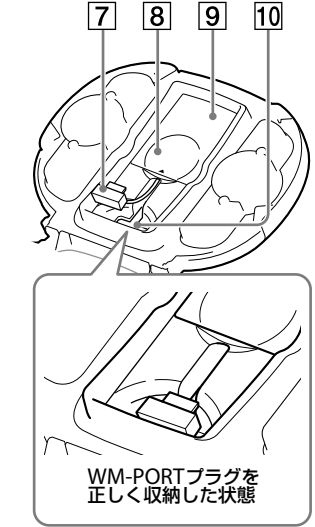
正面



背面



内部

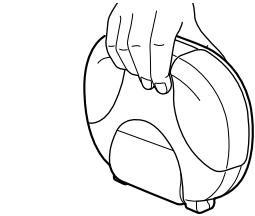


- VOL (ボリューム) -/+ ボタン
- BATT (バッテリー) ランプ
- 操作シート
- バックル
- スタンド
- 指かり部
- WM-PORT* プラグ
 - WM-PORTは“ウォークマン”とアクセサリを接続する専用マルチ端子です。
- ズレ防止シート
- 電池ふた
- WM-PORT プラグ収納部

WM-PORTプラグの収納について
WM-PORTプラグをしっかり押し込んでWM-PORTプラグ収納部に収納してください。正しく収納されていない状態でふたを閉めると故障の原因となります。

持ち運びについて

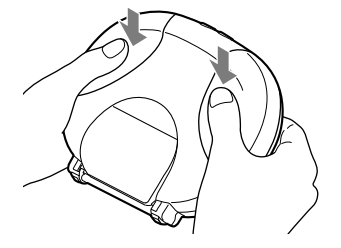
図のように指かり部をしっかりと持って運んでください。



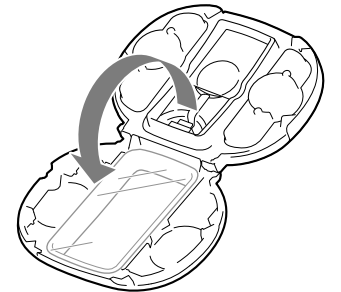
準備

本機のふたを開ける

- バックルを開ける**
図のように矢印部分を押ししてバックルを開けてください。



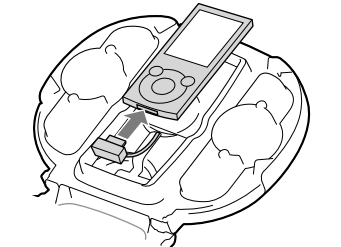
2 本機のふたを開ける



“ウォークマン”を接続する

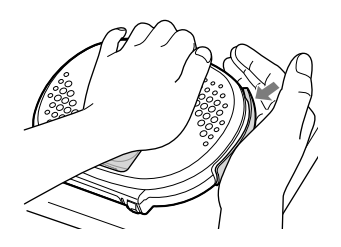
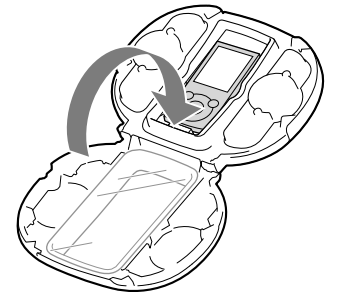
- “ウォークマン”をWM-PORTプラグに接続する**
 - WM-PORTプラグを引き出し、しっかり奥まで“ウォークマン”に差し込んでください。
 - “ウォークマン”のHOLD (ホールド) 状態を解除してから接続してください。
 - “ウォークマン”の「スピーカー出力最適化」を「オフ」にしてから接続してください。

操作の方法は、お使いの“ウォークマン”の取扱説明書を参照してください。



- ご注意**
- “ウォークマン”のアクセサリケースやストラップははすしてください。

- 本機のふたを閉じてバックルを閉める
平らな場所に置き、片方の手でふたを押さえながら、バックルを片方ずつ力チツツと音がするまでしっかり押し込んでください。

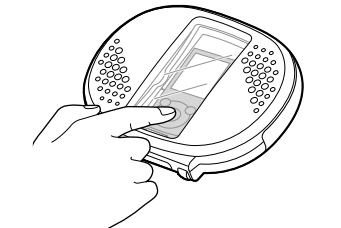


浴室・シャワー室などへ持って行く前にまず確認

- バックルは2つともしっかり閉まっていますか。
- “ウォークマン”が本機の中に入っていますか。

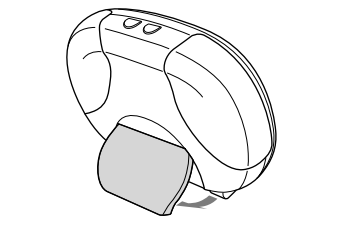
音楽を聞く

- 電源を入れる**
本機は“ウォークマン”の電源を入れると自動的に電源がオンになります。
- “ウォークマン”を再生する**
操作シートの上から“ウォークマン”を操作する。



3 本機のVOL -/+ボタンで音量を調節する

4 スタンドを立てて安定した場所に置く



5 電源を切る

本機は“ウォークマン”の電源を切ると自動的に電源がオフになります。

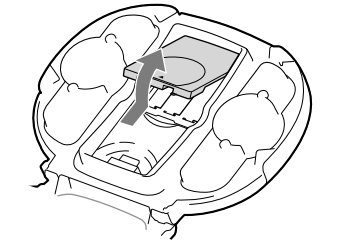
- ご注意**
- 本機で“ウォークマン”のFM、ワンセグ受信はできません。
 - 本機で“ウォークマン”の録音はできません。
 - “ウォークマン”のVOLボタンでは音量調節できません。本機のVOL -/+ボタンで調節してください。
 - 浴室やシャワー室などでご使用の場合は、水が直接かからない場所に本機を置いてください。
 - 公共の場所で大音量で“ウォークマン”を再生しないでください。

- “ウォークマン”からの給電に切り換わると音量が下がります。

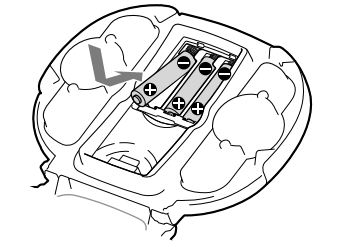
乾電池を入れる

別売の単3形乾電池を使う場合は、下記の手順にしたがって、乾電池を本機に入れてください。

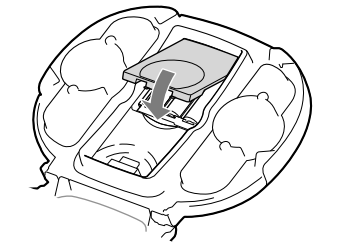
- 電池ふたを開ける**
電池ふたの下部を軽く押しながら開けてください。



- 乾電池(別売)を入れる**
単3形乾電池の+と-を確認し、+側を押し込んで入れてください。



3 電池ふたを閉じる



- ご注意**
- 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使わないでください。
 - 乾電池を交換するときは、異物が入らないようにご注意ください。
 - 長い間本機を使用しない場合は、液漏れや破裂を避けるために乾電池を取り出してください。
 - 手がぬれた状態で乾電池の交換をしないでください。

BATTランプの表示

緑に点灯: 本機に入れた乾電池で動作しています。乾電池残量が少なくなるとランプが暗くなります。

消灯: 下記のいずれかの状態です。

- 本機の電源が切れています。(“ウォークマン”が再生待機状態です。)
- “ウォークマン”からの給電で動作しています。
- 乾電池が切れています。

- ※ヒント**
- 本機の乾電池が切れると、自動的に“ウォークマン”からの給電に切り換わります。
 - “ウォークマン”の再生を停止しても、“ウォークマン”が再生待機状態に遷移するまでは、BATTランプは緑に点灯しています。

お手入れのしかた

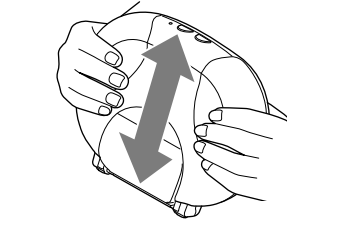
本機のお手入れ

ゴミなどがついたときは、かたくしぼった布でまわりを拭いてください。

- ご注意**
- 電池ふたの内部とWM-PORTプラグは、ぬれた布で拭かないでください。

本機がぬれた場合

- 水抜きをする**
下図のように本機を両手でしっかり持ち、上下に20回程度軽く振ってください。



- 乾いた柔らかい布などで水滴を拭き取る**
本機に付着した水滴を、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。

3 “ウォークマン”を取り出す

- ご注意**
- 水抜きは本機が手元から飛び出さないように、しっかりと手に持って行なってください。手元から飛び出すと、周囲の人にぶつかってけがをしたり、本機や“ウォークマン”の故障の原因となったりします。
 - 充分に水抜きされていない状態で電池ふたを開けると、ふたの隙間などにたまった水が流れ込むことがあります。この場合は、乾いた柔らかい布などで水滴を完全に拭き取ってください。

本体について

本体の構造上、スピーカー部に水が入る場合がありますが、防水性能には支障ありません。

スピーカーについて

スピーカー部に水が浸入すると、音が聞こえにくくなる場合があります。その場合は、下記の手順にしたがって水抜きを行ってください。

- 本機の表面の水分を乾いた柔らかい布などで拭く。
- 乾いた布などを下に敷き、2 ～ 3時間程度常温で放置する。

操作シートのお手入れ

操作シートが汚れた場合は、取りはすして水洗いしてください。

操作シートのはずしかた



操作シートの取り付けかた

本機を平らな場所に置き、操作シートを溝の端から均一に押し込んでください。

- ご注意**
- ふたのヒンジに指をはさまないようにご注意ください。

操作シートの交換について

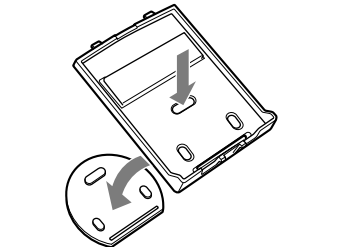
操作シートは、ご使用により劣化し防水機能が失われることがあります。1年を目安に交換することをおすすめします。ご購入方法については、「保証書とアフターサービス」の「操作シートについて」を参照してください。

ズレ防止シートのお手入れ

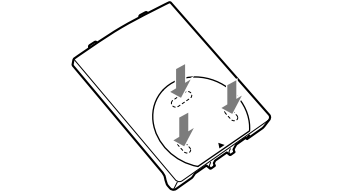
電池ふたからズレ防止シートを取りはすし、水洗いしてください。

ズレ防止シートのはずしかた

矢印の位置を押して、ズレ防止シートを取りはすしてください。



ズレ防止シートの取り付けかた
ズレ防止シートの突起を電池ふたの溝に合わせて、上からしっかりと押し込む。



故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度下記項目などをご確認ください。

それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービスステーションにご相談ください。

“ウォークマン”を操作できない

- “ウォークマン”本体がHOLD状態の場合は解除してください。
- タッチパネル搭載“ウォークマン”を使用している。本機に対応する“ウォークマン”以外は操作できません。

音がひずむ

- “ウォークマン”のイコライザ設定を「オフ」またはフラットにしてください。

音が出ない

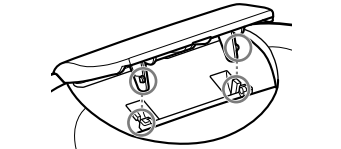
- “ウォークマン”がWM-PORTプラグに正しく接続されているかを確認してください。
- 上記で解決しない場合は、“ウォークマン”のRESETボタンを押して、“ウォークマン”をリセットしてください。

音が小さい

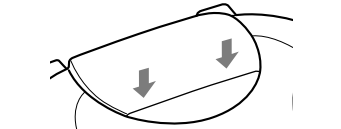
- 本機のVOL +ボタンで音量を上げて調節してください。
- 新しい乾電池に交換してください。

スタンドがはずれた

下記の手順にしたがって、スピーカー本体にスタンドを取り付けてください。
① スタンドの上部にある突起を本体取り付け部の溝に合わせて入れる。



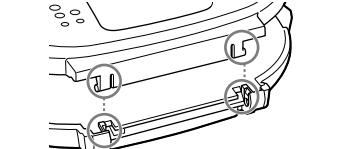
- スタンドを矢印の位置からパチンと押し込む。



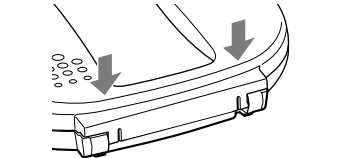
本機のふたがはずれた

下記の手順にしたがって、本機のふたを取り付けてください。

- 本機のふたの下部にある突起を溝に合わせて入れる。



- ふたを矢印の位置からパチンと押し込む。

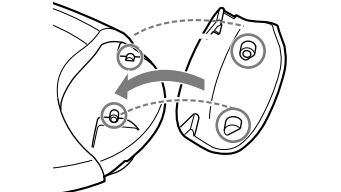


- ご注意**
- 平らな場所に置いて行ってください。
 - バックルが閉まった状態でふたを無理に押し込まないでください。壊れるおそれがあります。

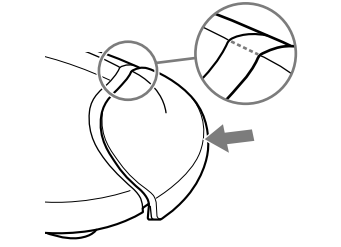
バックルがはずれた

下記の手順にしたがって、バックルを取り付けてください。

- バックルの裏面にある溝を本機の突起に合わせる。



- 本機とバックルの位置を合わせて、バックルを矢印の方向へパチパチと押し込む。



- ご注意**
- 取り付ける際は、手に持ってふたを開けた状態で行ってください。

主な仕様

対応機種	
本機に対応機種に関する詳細は、下記のホームページをご確認ください。 http://www.sony.jp/walkman/acc/	
スピーカー部	
型式	フルレンジ型 防磁型(JEITA*)
スピーカーサイズ	直径40 mm
インピーダンス	8 Ω
最大許容入力	1 W
アンプ部	
実用最大出力	1 W + 1 W (1 kHz、8 Ω) (乾電池使用時) 100 mW + 100 mW (1 kHz、8 Ω)(“ウォークマン”からの給電時) WM-PORTプラグ
入力電源部・その他	
電源	単3形乾電池3本／ “ウォークマン”からの給電 WM-PORTプラグ×1
入力端子	
最大外形寸法(幅／高さ／奥行き)	約192 × 155 × 47 mm、 約192 × 150 × 75 mm (スタンド使用時)
質量	約450 g
動作温度	5℃ ～ 35℃

電池寿命	
5 mW + 5 mW出力時	
SONY 単3形アルカリ電池LR6 (SG)	約60時間*2
SONY 単3形マンガン電池R6	約25時間*2
80 mW + 80 mW出力時(お買い上げ時の設定音量)	
SONY単3形アルカリ電池LR6 (SG)	約24時間*2
SONY単3形マンガン電池R6	約8時間*2
*“ウォークマン”からの給電での電池寿命は、ホームページ (http://www.sony.co.jp/walkman-support/) をご覧ください。	
付属品	
取扱説明書・保証書(1)	

*1 JEITAは「(社)電子情報産業協会」の略称です。
*2 周囲の温度や使用状態により上記持続時間と異なる場合があります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 本書には、保証書が印刷されています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービスステーションにご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではアクティブスピーカーシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

操作シートについて
ご購入はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービスステーションにご相談ください。ご購入されるときは、品名、番号をご連絡ください。
操作シート(番号4-194-653-01)